

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ① 第三者評価機関名

株式会社 ケアシステムズ
--------------

## ② 施設・事業所情報

名称：藤沢市立柄沢保育園	種別：児童福祉施設（保育所）	
代表者氏名：金子 順子	定員（利用人数）： 119名	
所在地：神奈川県藤沢市柄沢1-6-5		
TEL：0466-26-1355	ホームページ： <a href="http://www.fujisawa.kanagawa.jp/">http://www.fujisawa.kanagawa.jp/</a>	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：1976年8月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：藤沢市 藤沢市長 鈴木 恒夫		
職員数	常勤職員： 26名	非常勤職員 9名
専門職員	（専門職の名称） 名	栄養士（本科に配置） 2名
	保育士 26名	
	保健師（本課に配置） 3名	
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	保育室6・ホール・事務室・調理室・休憩室	園庭（大小2か所）・プール・砂場・すべり台・鉄棒・ジャングルジム

## ③ 理念・基本方針

「笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる」というまちづくりのテーマを示しています。次代を担う子どもたちの誰もが、夢と希望をもち、健やかに成長できるよう子ども子育て家庭に寄りそっていきます。

市民や関係団体と行政が連携・協力して、子ども・子育ての取り組みを進め、子ども・子育て支援事業計画の将来像である「未来を創る子ども・若者が健やかに成長する子育てにやさしいまち」の実現を目指します。

それを受けて、子どもたちが安心して生活が送れるよう、また自主的に遊びが展開できるように環境を十分に整えると同時に、一人一人の個性を大切にしながら、感性豊かで思いやりの心を育ていけるよう、職員一同連携して保育を行っています。保育園、家庭、地域と手を取り合って連携し、豊かな未来を担っていく子どもたちの健やかな成長を願い、よりよい保育をすすめてまいりたいと思います。

## ④ 施設・事業所の特徴的な取組

- 園舎は中庭を囲んだ平屋建てで、全園児が日常的に交流できる環境となっています。昼寝後などに、中庭で異年齢同士交流することもあります。園庭は2か所あり、1か所では主に乳児が遊び、もう1か所の園庭では、主に幼児が、かけっこ、鬼ごっこ、ボール、縄跳び、竹ぽっくり、石垣登りなどの運動遊びを楽しみ、それによって体の使い方が上手になっています。砂場では団子づくりや、山づくりに熱中しています。
- 「なかよしの日」という幼児クラスの縦割り交流の日には、さまざまなコーナー遊びを異年齢で体験し、年上の子どもの模倣をしたり、年下の子に優しく接したりしています。

- ・子どもの成長や興味に合わせた主体的に遊べるような「環境作り」を各クラスで見直しを行いながら進めています。
- ・用務員と一緒にプランターや畑に野菜や花の種まきや苗植えをし、育てています。収穫した野菜は調理員がメニューに加えています。収穫物を使ったクッキング保育では、カレー・ピザパン作りを行い、食育へとつなげています。大切に育てた花に名前を付けたり、絵を描くなどの活動にもつなげています。
- ・「あいあい」など地域の子育て支援に力を入れており、園での体験保育・イベントにも多数の参加があります。計画については、職員で話し合っています。

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2019年6月12日（契約日） ～ 2020年3月9日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	回（ 年度）

#### ⑥総評

##### ◇特に評価の高い点

- ・保育の実践を言語化することで保育を見直し、展開と充実を図ることを目的に「実践の言語化年間計画」を作成した。4期ごとに配慮事項の策定と保護者・市民へ発信しており、保育士一人ひとりが専門的な知識を高め、保育の質を向上させていくことを目指している。
- ・人権について、子どもにも分かりやすく伝えるために「替え歌」を作り一緒に歌うことにしている。本年度は2番の歌詞を作成し各クラスに掲示している。
- ・園舎は平屋建てで中庭を囲んで保育室があり、異年齢の子どもたちが日常的に交流できる環境にある。中庭では用務員も関わり花や野菜の栽培活動に取り組み、食育にもつなげている。日当たりの良い園庭は広く、特徴的な傾斜では石垣のぼりをする子どもも見られている。地域支援事業としての園庭開放や高齢者施設との交流も継続的に行われ、地域に根差した保育園である。

##### ◇改善を求められる点

- ・職員一人ひとりの育成を更に充実することを目的に、取得資格、研修実績、スキルなどを一覧できるような仕組み作りが望まれる。研修計画策定や管理の充実を図るために、分かりやすい可視化ツールの作成を検討されたい。
- ・利用者（保護者）に対して、保育目標を周知するための工夫を検討されたい。
- ・市の児童福祉に関する中長期計画を受け、園としての個別事情を踏まえた中長期計画の策定が望まれる。

#### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

- ・保護者アンケートについては、改善できる内容から対応を行っています。関係機関との調整が必要な内容については連携を図り、また、保護者にご理解いただくためには保育の目標を含め、説明方法についても検討していきます。
- ・研修会・講習会参加記録で、一人ひとりの受講した研修は把握できており、今後も専門的な知識を高め、保育の質の向上につなげていきます。ご意見をいただきました、人事評価制度については、職制としての人事評価制度は行っていますが、保育関係の研修を受けたことによる人事評価の体制にはなっておりません。研修の成果については今後も保育に生かし、研修の在り方についても検討していきます。
- ・中長期計画については、公立園であり、園固有の課題や、実情を反映した中長期計画の策定に、園が独自で取り組むことが難しいですが、市の方針、財政状況、保育のニーズをふまえ、保育指針をもとに継続した保育の取り組みの検討をしていきます
- ・今回、第三者評価を受けたことにより、保育事業全般、保育内容について丁寧に振り

返りを見直しを行うことができるとともに、職員一人ひとりの自信にもつながっています。今後も、園の職員、公立保育園、地域を含む各機関との連携を図り、保育事業についての取り組みを進めてまいります。

- ⑧第三者評価結果  
別紙2のとおり